

西学園だより

雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校
【文責 表面 梅木 裏面 小田】

お世話になりました（5年生家庭科ミシンボランティア）

5年生の家庭科では、ミシンを使ってエプロンの製作を行っています。1月27日から4週間にわたって延べ23人の地域のボランティア講師に、児童の学習サポートをしていただいています。ミシンの学習は、順調に進めばいいのですが、糸が絡まったり、糸調子が合わなかったりと、児童がてこずる学習の一つです。それでも、状況を見て、ていねいに教えてもらえるので、児童は安心して学習に取り組むことができます。ぬっている様子を見ていると、近寄ってきて真っ直ぐなぬい目を自慢げに見せてくれました。完成したエプロンを着けて調理実習するのが楽しみです。



ミシン学習の様子

学校保健委員会を開催しました

2月10日に学校保健委員会を開催しました。この会は、学校における健康問題を協議し、家庭や地域社会と連携して健康づくりを推進する組織です。今年度はオンライン会議で学校医の濱本先生、学校歯科医の青木先生に参加いただきました。

本校の児童の健康状況ですが、健康診断の結果を見ると二つの特徴があります。一つは歯科検診結果です。ここ3年間、う歯（虫歯）がない人の割合が増加し、う歯未処置歯のある人の割合が減少していることです。子どもの歯の状態がよい傾向にあることは、日頃から家庭で気を付けてもらっていることや、治療に積極的に取り組んでもらっていることが分かります。

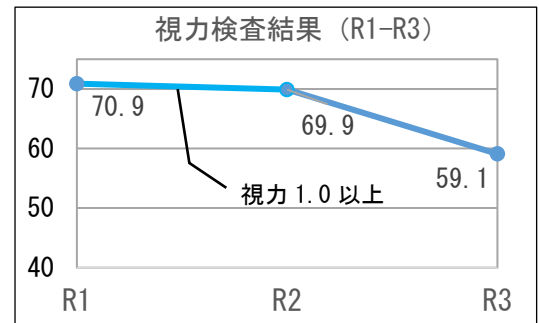
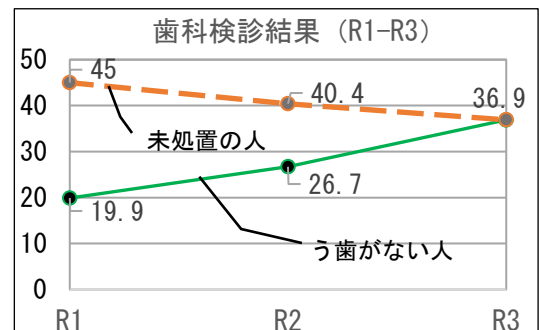
一方、気になる結果もあります。視力検査結果です。今年度、児童の視力は著しく低下しています。視力1.0以上の割合が大きく減少しました。また、大東中学校区で取り組んでいる元気アップカードの様子を見ると、メディア時間1時間未満を5日間できた児童は1割程度、逆に1日もできなかった児童は5割以上という結果でした。視力の低下とメディアとの相関関係は明確ではありませんが、児童のメディアとの関わりを考える必要性を感じています。

濱本先生からは、メディア時間を減らすことの意味、それが何につながるのか（何がいいのか）を児童に伝えることが大切であるご指摘いただきました。

青木先生からは、歯の状態と子どもの生活習慣は関連があることや、夕食の時間、風呂の時間を含めて家庭での時間の使い方などの生活習慣について考えてみることについてご提案いただきました。

一人一台タブレットの使用に合わせ、児童のメディアとの関わりも変化します。来年度に向け、メディアとの関わりを一つの視点に、児童の生活や生活リズムについて、学校・家庭・地域で改めて考えるときだと考えています。

※視力の低下と姿勢（対象物との距離）には相関関係があると、濱本先生からお話をいただきました。学校でも姿勢に気を付けるよう声かけしていきます。タブレット使用時に画面に近づいているようです。



歯科衛生士によるブラッシング指導